

無農薬の「龍の瞳」

下呂市発祥の米「龍の瞳」を発見し、栽培や普及を続ける今井隆さん(五七)が二十六日、同市萩原町宮田の自宅近くに借りた水田で龍の瞳の田植え体験会をした。市内外の三十人が昔ながらの手植えに汗を流した。(福本雅則)

今井さんは今年、完全をした。無農薬による米無農薬による龍の瞳米 作りの苦勞や喜びを体験りを計画。魚で作った肥 してもらおうと開いた。料やにがりなどで土作り 参加者は十二坪の水田

に素足で入り、一列に並んだ。真つすぐに張られたロープに従って、青々とした苗を一本ずつ約三十分間隔で植え進み、二

発見者 今井さんが体験会

萩原

時間ほどで作業を終えた。

多治見市の喫茶店経営今井正利さん(四七)は妻の鳳子さん(三〇)、長男の智也ちゃん(三三)と参加。

「手で田植えができる機会はめったにない。家族そろっていい経験ができた」と話していた。

今後は、草取りや稲刈りの参加者も募る予定。通常より一カ月ほど収穫を遅らせて「完熟米」にするため、刈り取りは十一月初めになるといっ。

横に並んで手作業で苗を植える参加者ら―下呂市萩原町で

田植えに学ぶ

